

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成29年10~12月期の景況/平成30年1~3月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、緩やかに回復している

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2017年10~12月期の実績と2018年1~3月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から3.4%の回復となった。業種別では、建設業が▲10.7%から7.4%へ製造業は▲10.5%から6.3%へ飛躍的に回復した。小売業においては前回の▲5.9%から▲5.3%へとほぼ横ばい状態となった。また、サービス業では0.0%から▲13.6%へ卸売業は▲9.5%から▲16.7%へと悪化するという結果になった。

来期の新規設備投資については、▲5.7%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、全業種において「従業員の確保難」が上位となり(建設業は6期連続)、前回に引続き、人出不足感の強い結果となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは?

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

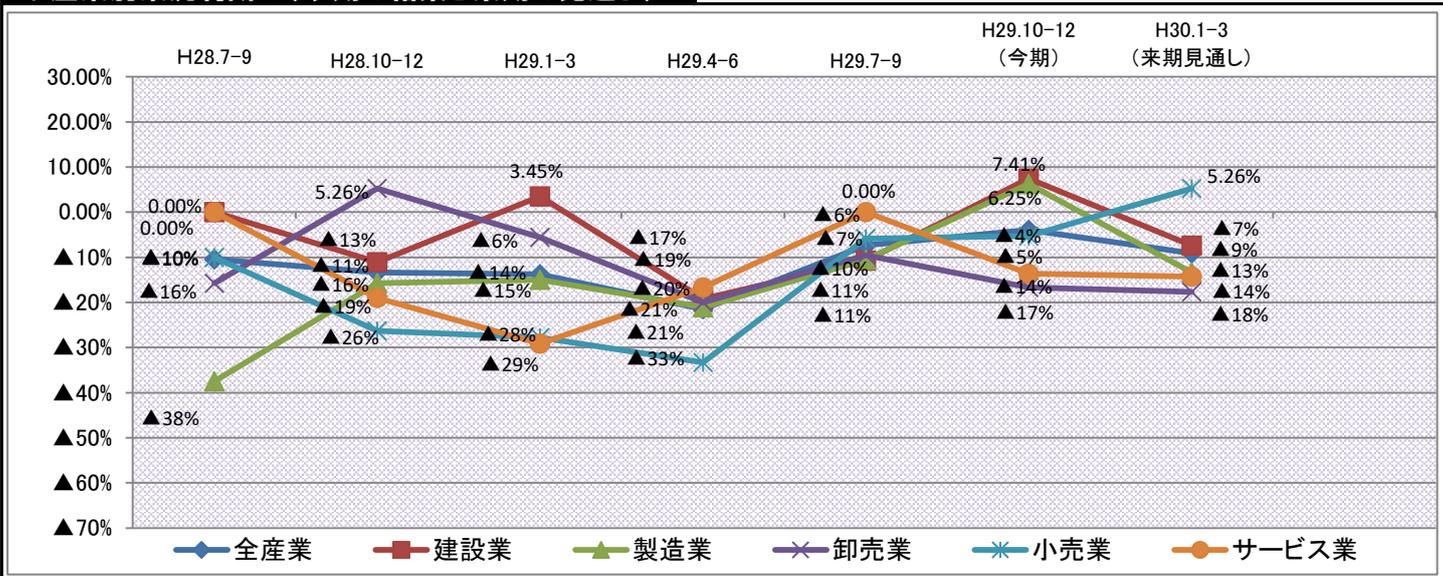
DATE

- 調査期間: 2017年10月30日~11月7日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 105(76.6%)

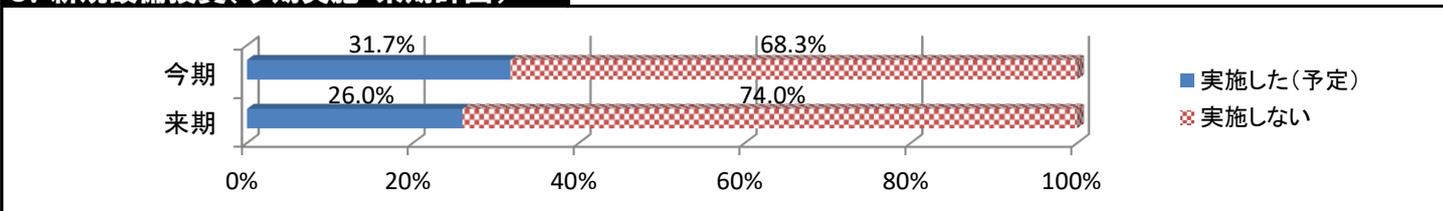
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲3.9%	3.42%	▲7.7%	1.40%	▲4.9%	▲2.1%	▲16.5%	▲5.5%	4.85%	9.40%
建設業	7.41%	18.12%	0.00%	37.04%	3.70%	7.28%	0.00%	17.86%	11.11%	14.68%
製造業	6.25%	16.78%	▲5.6%	▲15.6%	▲5.6%	▲0.3%	▲38.9%	▲17.8%	16.67%	6.67%
卸売業	▲16.7%	▲7.1%	▲11.1%	3.17%	0.00%	0.00%	▲5.6%	▲5.6%	▲11.1%	▲11.1%
小売業	▲5.3%	0.62%	▲15.8%	▲4.7%	▲15.8%	▲10.2%	▲36.8%	▲25.7%	16.67%	34.31%
サービス業	▲13.6%	▲13.6%	▲9.1%	▲21.6%	▲9.5%	▲9.5%	▲9.5%	▲5.2%	▲9.1%	3.41%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 27.8%	製品(加工)単価の低下・上昇難 15.5%	従業員の確保難 18.2%	従業員の確保難 18.4%	利用者ニーズの変化への対応 19.4%
2位	熟練技術者の確保難 20.3%	従業員の確保難 15.5%	販売単価の低下・上昇難 16.4%	消費者ニーズの変化への対応 14.3%	従業員の確保難 16.1%
3位	下請業者の確保難 16.5%	原材料価格の上昇 12.1%	需要の停滞 14.5%	需要の停滞 14.3%	熟練従業員の確保難 12.9%
4位	官公需要の停滞 8.9%	需要の停滞 12.1%	人件費の増加 9.1%	大型店・中型店の進出による競争の激化 8.2%	人件費の増加 9.7%